



令和5年10月8日(日)に第29回広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルが広島広域公園ほか、全12会場で大規模に開催されました。天気はあいにくの曇り空でしたが、総参加者数は35,767人で活気のあるイベントになりました。

第29回 広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル



私たちはスポーツ推進委員は大会の運営・サポートを行いました。8区対抗のスポーツ交歓競技大会、レクリエーション運動会では代表選手が奮闘、熱戦を繰り広げ、安佐南区は総合第4位でした。

さらにスポーツ交歓競技大会のソフトテニスでは原学区、レクリエーション運動会の女子リレーでは安西学区が第1位でした。

その他多くの種目がありましたが、その中からいくつかをご紹介します。

■ニュースポーツ体験

広域公園補助競技場で開催された各種ニュースポーツのうち、バグジー・スパイダーターゲットゲーム・ターゲットマット・バランス迷路・アクティブチャイルドプログラムをスポーツ推進委員で運営を行いました。

【ターゲットマット】

ゲームとしてはドッチビーやいろいろなボールを使っている入れゲームを行うものです。4回投げて合計何点取れるかを競います。(マットに当たったら1点)

ご家族連れや競技大会終了後の方々が大勢参加され、昨年より多い総



■レクリエーション運動会

メインスタジアムで開催されたレクリエーション運動会に参加される皆さんに各競技の誘導案内や協議に関する注意事項をスポーツ推進委員が行いました。

ムカデ競争やなぐなぐとび等の各種競技には老若男女、742人の方が参加されました。私たちも、競技がスムーズに進行し、しっかり楽しんで帰ってもらえるように努めました。

勢781人の皆さんに楽しんでいただきました。高得点を狙って何度もチャレンジする子どもたちや楽しく得点を狙う親子など、参加いただいた方にはニュースポーツ体験を存分に楽しんでいただけたと思います。

■ウォークラリー

競技はメインスタジアムをスタート・ゴールとし、チェックポイントでのゲームや途中の課題をクリアしながらゴールを目指し、課題・ゲーム・所要時間の合計点で順位を決めます。

午前の部が54チーム 220名午後の部が30チーム 105名という多数の参加者がありました。

私たちはスポーツ推進委員はゲームの運営はもちろんですが、コースを外れてしまうチームが無いよう、各チームのチェックポイント通過確認をしっかりと行いました。



今回は新型コロナウイルス移行後の初の開催で、参加された皆さんが笑顔で、楽しんでいたことが印象的でした。来年も楽しいイベントになるよう、スポーツ推進委員も一丸となって協力していきたいと考えています。

あさみなみ

令和6年2月1日発行
発行：広島市安佐南区
スポーツ推進委員協議会
発行責任者：会長 中村 靖
編集：広報 部

第15回 あさみなみ子ドッチビー大会開催

令和6年3月10日(日)に第15回あさみなみ子ドッチビー大会が5年ぶりに開催されます。過去10回の大会では、述べ3,266人が参加した伝統ある大会です。

ドッチビーとは布製のフライングディスクを用いて1チーム13名以下で行う、簡単に言うとドッチボールのフリスビー版のような競技です。

ディスクにはクッション性がありフリスビーとは違って、当たっても痛くないので、ケガの危険性が低く、安全なので、大人も子どもも楽しめる競技です。

大会は安佐南区スポーツ推進委員協議会と安佐南区スポーツセンターとの共催で実施しています。子どもが気楽にできるスポーツとして、安佐南区スポーツ推進委員がこれまで普及

ドッチビー大会 過去10回参加者数、優勝チーム一覧

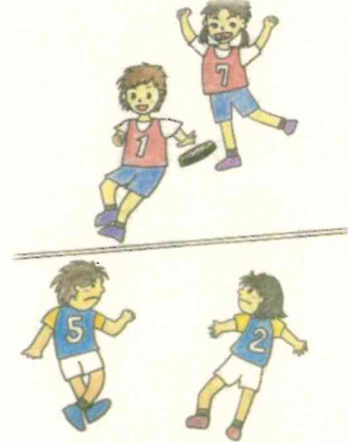
大会	参加チーム数	参加者数	役員数	優勝チーム
第1回	24チーム	312人	70人	やまもとどっちび倶楽部
第2回	17チーム	230人	70人	こころA
第3回	21チーム	300人	80人	伴東スピリッツ
第4回	20チーム	308人	90人	伴ブラックファイターズ
第5回	23チーム	358人	82人	伴ブラックファイターズ
第6回	24チーム	359人	79人	おおまち
第7回	19チーム	313人	80人	春日野ストライカーズ
第8回	22チーム	344人	80人	春日野ストライカーズ
第9回	25チーム	379人	80人	春日野バスターズ
第10回	23チーム	363人	80人	山本レンジャーズ
合計参加者数 3,266人(役員791人)				

活動に取り組んできた「ドッチビー」を通して仲間づくりや子どもたちの健全な育成に寄与することを目的としています。

私たちはスポーツ推進委員は、毎年大会の審判と運営を行っており、ここ数年コロナ禍で大会を開催できずしていましたが、一生懸命頑張っている小学生のために、真剣に取り組んでいます。その一環として去る11月22日(水)と12月14日(木)の19時半から、安佐南区スポーツセンター体育館にて、ドッチビーの審判研修会を行いました。試合開始前の選手整列から後半戦が終了して成績発表するまでの全体の流れと主審、副審、線審等の役割及びルールを学びました。

審判の経験がない新しいメンバーも多く、特に試合形式での実技研修には積極的に挑戦しました。早い動きの中で際どい判定をするケースもありますが、自信を持って行うことが重要だと学びました。

令和6年3月の大会前に、各学区でドッチビー大会が予定されており、積極的に審判をして、スキルアップしたいと思っています。



“スポーツ推進委員はドッチビー大会を全力でサポート”

